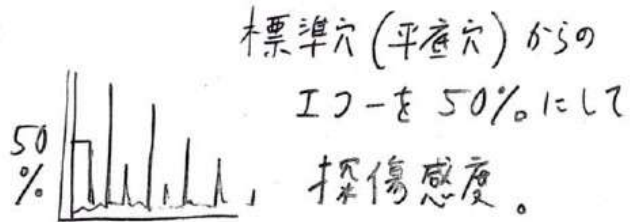
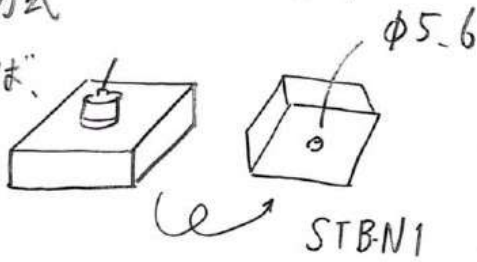


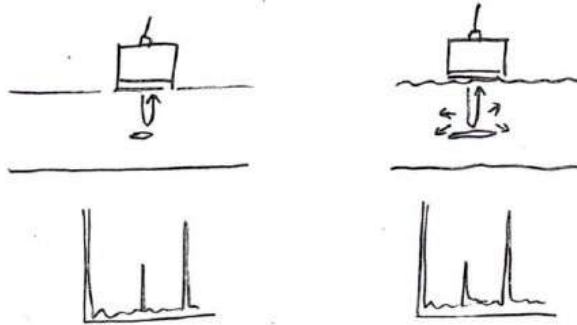
探傷感度調整

試験片方式

例えば



減衰が大きい試験体
伝達損失が大きい



きずを過小評価する
おそれがある。

同じエコー高さでも
大きいかもしれなし。

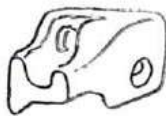
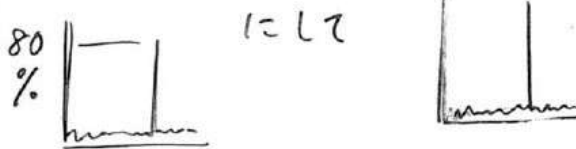
底面エコー方式

例えば

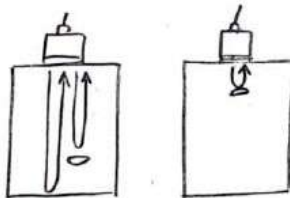


健全部(きずがないところ)
の底面エコーを80%
にして

+20dBして
探傷感度。



平行な面がないと
できなし。



減衰が大きい試験体で
きずが浅いところにあると
あまり減衰がないので
きずを過大評価するおそれがある。

探傷面の粗さ(伝達損失)

減衰の影響を受けなし。(同じ条件の底面が基準)